

群馬県鉱工業指数 令和 7 年 1 1 月分

1. 公表内容

1 1 月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、輸送機械工業、食料品工業などが低下したことから、2 か月連続のマイナスとなった。

○概況

生産、出荷は低下、在庫は上昇で推移

◆ 1 1 月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原 指 数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生 産	90.4	▲ 6.5	2 か月連続 -	93.5	▲ 15.5	3 か月連続 -
出 荷	88.6	▲ 6.2	2 か月ぶり -	95.4	▲ 15.3	5 か月連続 -
在 庫	196.5	3.6	2 か月ぶり +	187.5	21.4	8 か月連続 +
在庫率	218.3	12.2		203.9	50.7	

○生産指数は、季節調整済指数で、2 か月連続のマイナス、原指数で、3 か月連続のマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2 か月ぶりのマイナス、原指数で、5 か月連続のマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2 か月ぶりのプラス、原指数で、8 か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>低下:輸送機械工業

(▲ 10.0 %)、食料品工業

(▲ 2.4 %)

<出荷>低下:化学工業

(▲ 17.9 %)、業務用機械工業

(▲ 27.2 %)

<在庫>上昇:化学工業

(10.3 %)、汎用機械工業

(4.5 %)

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇:鉱業

(22.9%) / 低下:電子部品・デバイス工業

(▲ 17.1%)

<出荷>上昇:ゴム製品工業

(12.4%) / 低下:業務用機械工業

(▲ 27.2%)

<在庫>上昇:電子部品・デバイス工業

(31.3%) / 低下:輸送機械工業

(▲ 50.0%)

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和 2 年（2020 年）を基準年として、その鉱工業製品の 1 か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171 品目
- ・出荷指数・・・164 品目
- ・在庫指数・・・91 品目
- ・在庫率指数・・・84 品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1 年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和 8 年 2 月末（令和 7 年 1 2 月分）

令和7年11月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

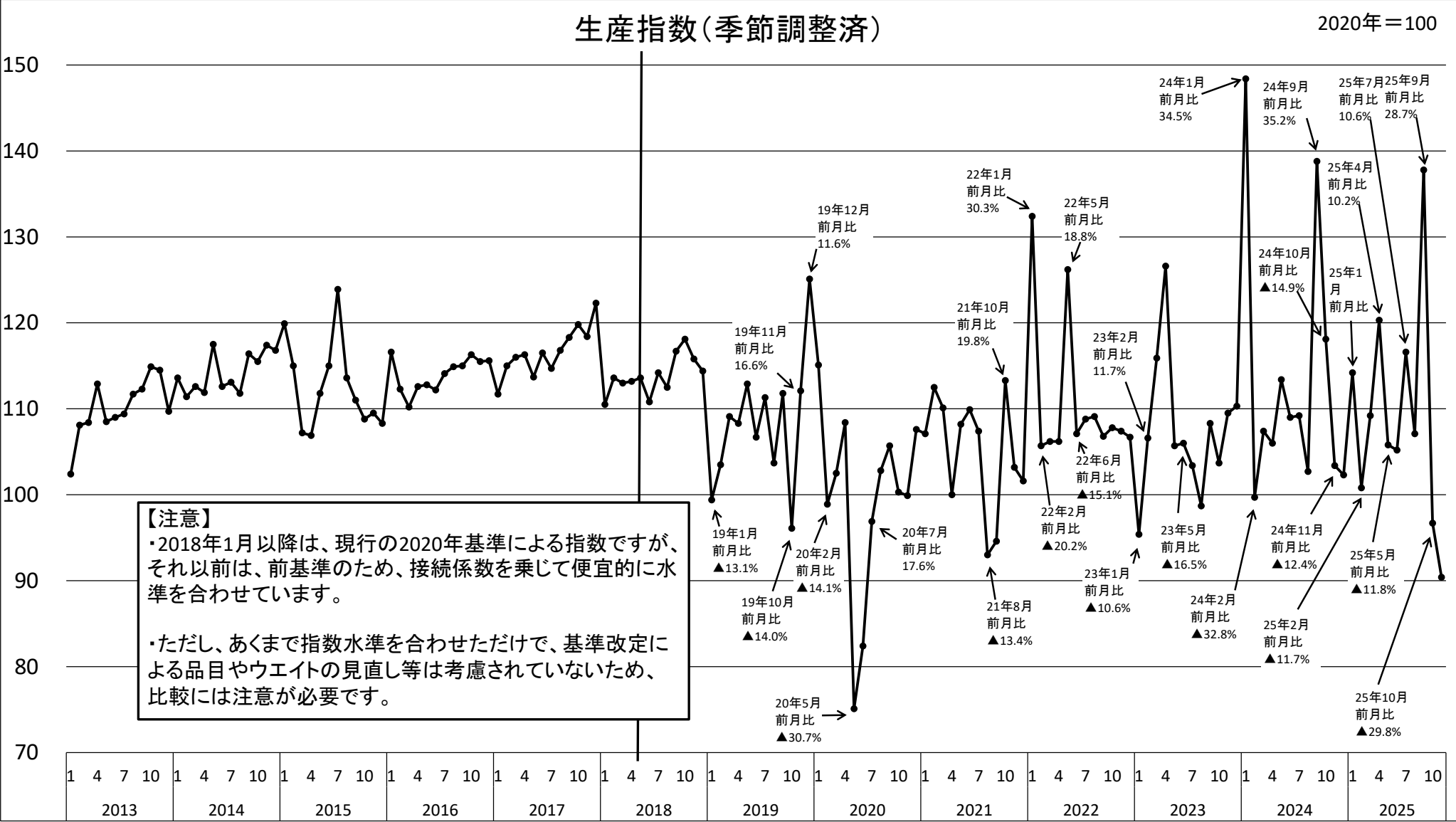
		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	化学工業	0.3	2.3	けい素樹脂	
		印刷業	0.1	10.4	おう版印刷(グラビア印刷)	
	低下	輸送機械工業	▲ 2.1	▲ 10.0	普通乗用車	シート
		食料品工業	▲ 0.5	▲ 2.4	菓子	めん類
		プラスチック製品工業	▲ 0.4	▲ 5.4	プラスチック製パイプ	プラスチック製日用品・雑貨
		業務用機械工業	▲ 0.4	▲ 17.0	自動販売機	娯楽機器
出荷	上昇	生産用機械工業	0.2	6.3	金型	ショベル系掘削機械
		情報通信機械工業	0.2	11.6	レーザプリンタ	端末装置
	低下	化学工業	▲ 1.7	▲ 17.9	医薬品製剤	化粧品
		業務用機械工業	▲ 1.0	▲ 27.2	自動販売機	娯楽機器
		電気機械工業	▲ 0.5	▲ 5.6	半導体・IC測定器	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機
		輸送機械工業	▲ 0.4	▲ 1.3	普通乗用車	ワイパー
在庫	上昇	化学工業	5.6	10.3	医薬品製剤	
		汎用機械工業	0.4	4.5	ショーケース冷凍機内蔵型	吸収式冷凍機
	低下	生産用機械工業	▲ 0.3	▲ 3.5	研削盤	
		電気機械工業	▲ 0.3	▲ 6.0	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	電気温水器

(注)寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	鉱業	0.0	22.9	石灰石
	低下	電子部品・デバイス工業	▲ 0.3	▲ 17.1	セラミックコンデンサ
出荷	上昇	ゴム製品工業	0.0	12.4	防振ゴム
	低下	業務用機械工業	▲ 1.0	▲ 27.2	自動販売機
在庫	上昇	電子部品・デバイス工業	0.0	31.3	発光ダイオード
	低下	輸送機械工業	▲ 0.2	▲ 50.0	普通乗用車

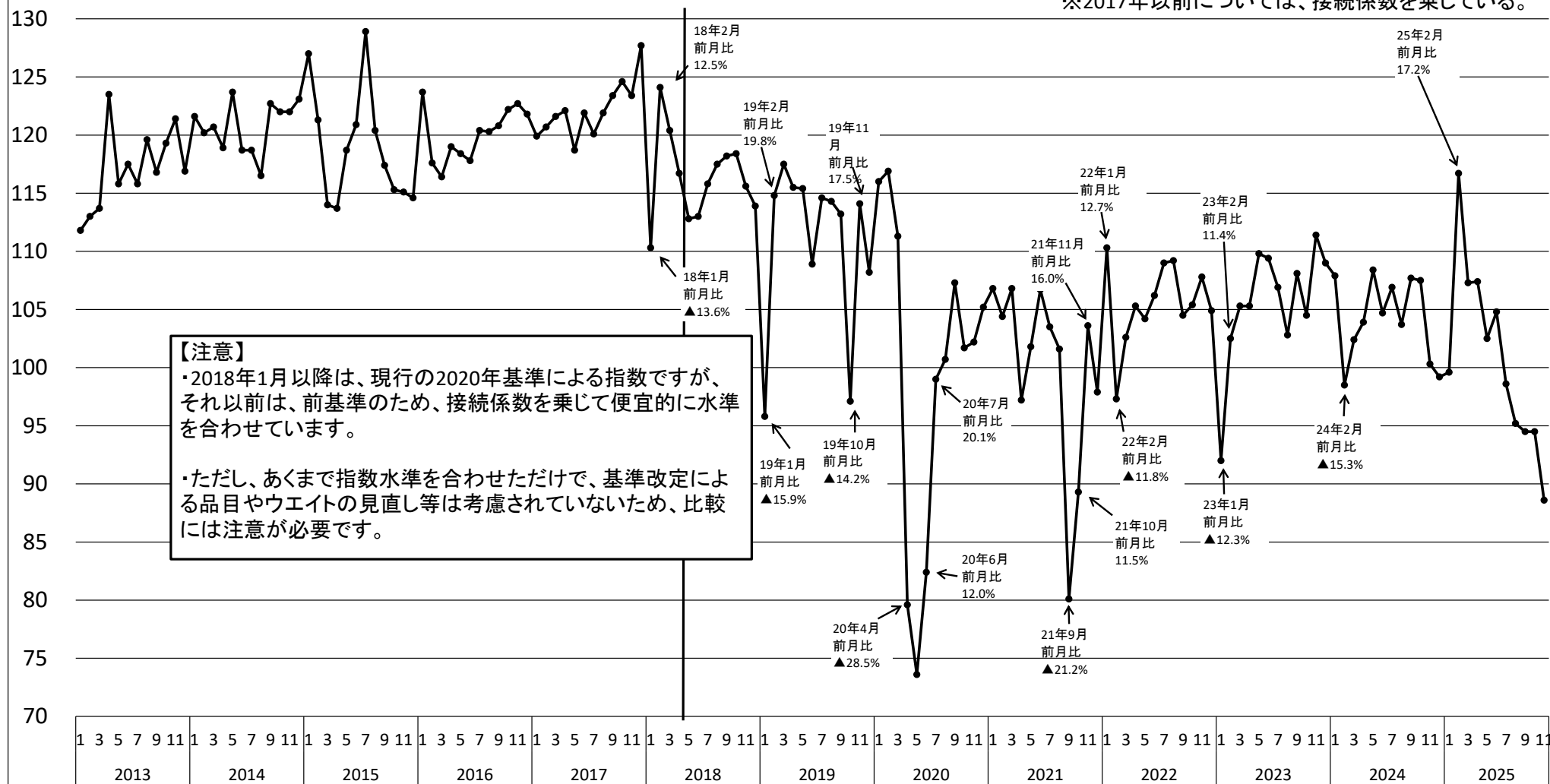
○群馬県鉱工業指数の動き



2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

2020年=100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。

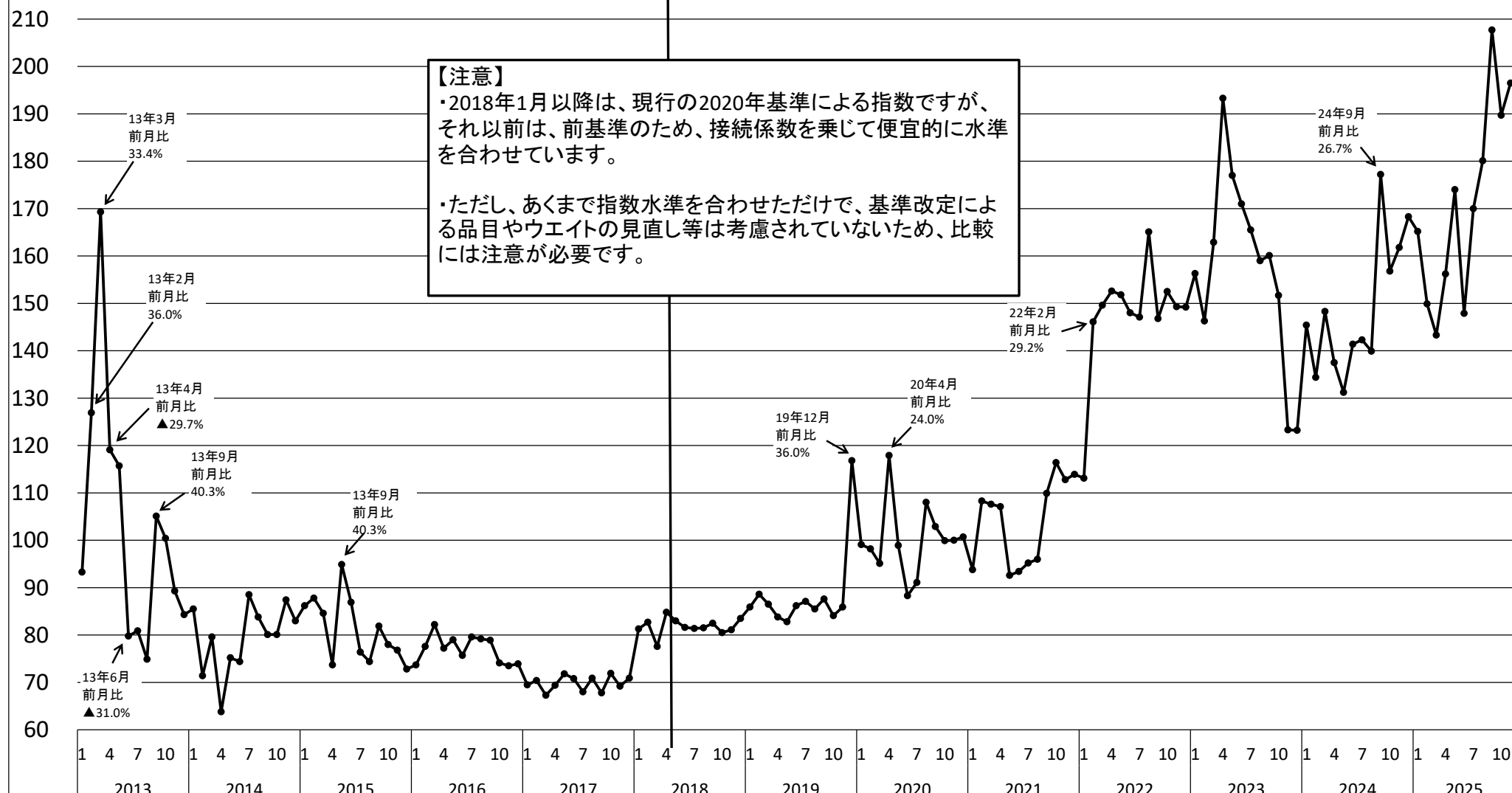


2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年 = 100



2015年基準: 2013年～2017年 2020年基準: 2018年～2022年 2025年基準: 2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100

